

人口・社会統計部会の審議状況について(報告)
(就業構造基本調査の変更)

資料2

項目	変更内容等	部会審議		審議の状況
		第1回	第2回	
1 計画の変更 (1) 調査事項の変更	<p>○ 働き方改革の一連の動きを踏まえ、フリーランス、テレワーク、副業等及び育児・介護に関する調査事項の追加・拡充(変更部分は別紙1、調査票(案)全体は別紙2参照)</p> <p>○ 調査票のスペースも考慮しつつ、利活用の必要性や報告者の負担軽減の観点から、一部の調査事項を変更・削除等</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>《参考》 本調査において予定されている「フリーランス」の定義 ↓ 「実店舗がなく、雇人もいない自営業主や一人社長であって、自身の経験や知識、スキルを活用して収入を得る者」</p> <p>※「フリーランスとして安心して働ける環境を整備するためのガイドライン」(令和3年3月26日内閣官房・公正取引委員会・中小企業庁・厚生労働省)で示された定義に準拠</p> </div>	●	●	<p>【第1回部会の状況】</p> <p>・<u>変更の方向性自体については、異論はなかったものの、働き方改革に関連する調査事項の追加等について、調査を行うに当たっての定義の明確化や取扱い、公表時の情報提供の在り方について意見が出された。</u></p> <p>【主な意見】</p> <p>《フリーランス関係》 ◆今回はフリーランス把握の第一歩。A3両面という調査票のスペースの制約はあるものの、公的統計として、政策上の定義に沿った値が集計・公表できるように調査を設計することが重要。</p> <p>◆「実店舗」と「事業所」の違いを整理してほしい。その上で、調査を行うに当たっては、「実店舗」の定義を分かりやすく示すべきではないか。</p> <p>◆「内職」は、一般的に自宅で行うイメージが強く、店舗がある内職というケースがイメージしにくい。内職についても「実店舗の有無」の選択肢を設ける必要があるのか。</p> <p>◆「派遣社員」の中には、フリーランスという呼称で働いている人々も存在するのではないか。今回の定義・集計でそれらが含まれない場合、一般的な感覚と異なる結果になるおそれはないか。</p> <p>◆今回把握しようとするフリーランスと、これまで本調査で把握してきた就業形態との関係について、包含関係を整理してほしい。</p> <p>◆フリーランスについては、場所だけでなく、時間の不規則性に着目して定義する考え方もあるなど、様々な定義やイメージがある。本調査において、どのような要素を組み合わせで定義したのか、結果公表時には、丁寧に説明することが必要。</p> <p>◆フリーランスの定義における「自身の経験や知識、スキルを活用して」について判断する調査事項を設けない以上、この要素を、本調査におけるフリーランスの定義に含めることは誤解を招くのではないか。</p> <p>◆本調査で集計されるフリーランスには、経済センサスで把握されていないフリーランスも含まれ得ると理解すべきか。</p> <p>《テレワーク関連》 ◆テレワークの実施状況は、「1年間」の状況について報告を求めることとしているが、アクチュアルな実績値を記入するのか、それとも、就業規則などであらかじめ予定されているような場合をユージュアルとして記入するのか、あいまいではないか。本調査が、主にふだんの状況(ユージュアル)を調べる調査であることを踏まえると、この項目について実績値で記入させることに違和感があるとともに、コロナ禍の状況などで、時期により大きな変動があり、報告者が迷うのではないか。</p>

項目	変更内容等	部会審議		審議の状況
		第1回	第2回	
				《育児・介護関連》 ◆育児・介護の状況において、「育児・介護をしているか、いないか」を尋ねる前提として、「育児・介護すべき人がいるか、いないか」といった選択肢を追加すべきではないか。
(2) 集計事項の変更	○ 調査事項の変更や利活用状況等を踏まえ、集計事項を見直し ○ 「都道府県編」及び「主要地域編」を、「地域編」に統合		●	(第2回部会で審議)
(3) 報告者数の変更	○ 調査対象となる世帯数について、約52万世帯を約54万世帯に変更(15歳以上の世帯員約108万人は維持)		●	
(4) 調査方法の変更	○ 調査票の提出方法について、これまでの調査員回収・オンライン回答に、郵送回答を追加		●	
2 前回答申 ^(※) における「今後の課題」への対応状況について ※平成28年12月16日	(1) 就業に与える育児・介護の影響のよりの確な把握 (2) オンライン調査の更なる利用の促進	●	●	

- (注)1 第1回(第128回人口・社会統計部会)は11月4日(木)に開催
2 第2回(第129回人口・社会統計部会)は11月22日(月)に開催
3 予備日(12月6日(月))の開催は未定

〔フリーランス関係の調査事項の新旧対照表〕

令和 4 年調査 (案)	平成 29 年調査
<p>A 1 勤めか自営かの別・勤め先における呼称・実店舗の有無</p> <p>・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づいて人をいいます ・上記以外の派遣されている人(デパートの派遣社員など)は派遣元の事業所における呼称について記入してください</p> <p>雇われている人のうち 正規の職員・従業員 アルバイト 労働者派遣 契約社員 嘱託 その他</p> <p>会社などの役員 役員・職員がいない 役員・職員がいる 実店舗あり 実店舗なし</p> <p>自営業主 雇人がいない 雇人がいる</p> <p>自家営業の手伝い 実店舗あり 実店舗なし</p> <p>内職 実店舗あり 実店舗なし</p>	<p>A 1 勤めか自営かの別・勤め先における呼称</p> <p>・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づいて人をいいます ・上記以外の派遣されている人(デパートの派遣社員など)は派遣元の事業所における呼称について記入してください</p> <p>雇われている人のうち 正規の職員・従業員 アルバイト 労働者派遣 契約社員 嘱託 その他</p> <p>会社などの役員 自営業主 「雇人あり」 「雇人なし」 自家営業の手伝い 内職</p>
<p>A 10 どうして今の就業形態にしているのですか</p> <p>(該当するものすべてにマーク) (うち おもなもの一つにマーク)</p> <p>自分の都合のよい 通勤時間が短いから 専門的な技能等を 生かせるから 正規の職員・従業員の 仕事がないから その他</p>	<p>A 9 どうして今の雇用形態にしているのですか</p> <p>(該当するものすべてにマーク) (うち おもなもの一つにマーク)</p> <p>自分の都合のよい 家計の補助・学費等を 得たいから 家事・育児・介護等と 両立しやすいから 通勤時間が短いから 専門的な技能等を 生かせるから 正規の職員・従業員の 仕事がないから その他</p>
<p>A 14 あなたはおもな仕事のほかに別の仕事もしていますか</p> <p>している <input checked="" type="radio"/> していない <input type="radio"/> (A19へ)</p> <p>A 15 勤めか自営かの別・勤め先における呼称・実店舗の有無</p> <p>雇われている人のうち 正規の職員・従業員 正規の職員・従業員以外 アルバイト 労働者派遣 契約社員 嘱託 その他</p> <p>会社などの役員 役員・職員がいない 役員・職員がいる 実店舗あり 実店舗なし</p> <p>自営業主 雇人がいない 雇人がいる</p> <p>自家営業の手伝い 実店舗あり 実店舗なし</p> <p>内職 実店舗あり 実店舗なし</p>	<p>A 13 あなたはおもな仕事のほかに別の仕事もしていますか</p> <p>していない <input type="radio"/> (A15へ) している (ある時期だけしている場合も含む) <input checked="" type="radio"/></p> <p>会社などの役員 雇われている人 自営業主 自家営業の手伝い 内職</p>

〔テレワーク関係の調査事項の新旧対照表〕

令和 4 年調査 (案)	平成 29 年調査
<p>A 6 この仕事の1年間のテレワークの実施状況</p> <p>・1日のうち少しでもテレワークを実施した日数について1年間の就業日数に占める割合を記入してください</p> <p>20%未満 <input type="radio"/> 20%~40%未満 <input type="radio"/> 40%~60%未満 <input type="radio"/> 60%~80%未満 <input type="radio"/> 80%以上 <input type="radio"/> 実施しない <input checked="" type="radio"/></p> <p>A 6の2 テレワークはどこで行いましたか (おもなもの一つにマーク)</p> <p>自宅 <input type="radio"/> サテライトオフィス <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/></p>	<p>(新設)</p>

〔副業等関係の調査事項の新旧対照表〕

令和4年調査（案）	平成29年調査
<p>A12の3 どのような種類の 仕事（職種）に つきたいですか （おもなもの一つにマーク）</p> <p>製造・生産・工程職 建設・探掘職 輸送機械運転職 営業・販売職 サービスの職業 専門的職業 管理的職業 事務職 農林漁業職 保安職 運搬・包装・清掃等職 仕事の種類について</p>	<p>（新設）</p>
<p>A14 あなたはおもな 仕事のほかに別の 仕事もしていますか</p> <p>A15 勤め先・自営の別・ 勤め先における 呼称・実店舗の有無</p> <p>A16 勤め先・業主などの 事業の内容 ・『調査票の記入のしかた』を参考にして 詳しく記入してください</p> <p>A17 本人の仕事の内容 ・『調査票の記入のしかた』を参考にして 詳しく記入してください</p> <p>A18 仕事の規則性及び 1週間の就業時間 ・ある季節だけ仕事をしている場合も 「不規則」とします</p>	<p>A13 あなたはおもな 仕事のほかに別の 仕事もしていますか</p> <p>A14 勤め先・業主など の事業の内容 ・『調査票の記入のしかた』を 参考にして詳しく書いてください</p> <p>（新設）</p> <p>（新設）</p>

〔育児・介護関係の調査事項の新旧対照表〕

令和4年調査（案）	平成29年調査
<p>F1 子の育児をしていますか ・この設問での育児は未就学児を対象とし、 乳幼児の世話や見守りなどを行います。 保育園や地域の児童館などは含めません。 仕事をしている日はふだんとします。 ・家事・育児時間については、『調査票の 記入のしかた』を参考してください</p> <p>F1の2 この1年間に育児休業などの 制度を利用しましたか （利用した場合はあてはまるものすべてにマーク） ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含めます</p> <p>F2 家族の介護をして いますか ・自宅外にいる家族の介護も含めます。 ・介護の内容については『調査票の記入 のしかた』を参考してください</p> <p>F2の2 この1年間に介護休業などの 制度を利用しましたか （利用した場合はあてはまるものすべてにマーク） ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含めます</p>	<p>F1 子の育児をしていますか ・この設問での育児は未就学児を対象とします。 ・このでの育児とは乳幼児の世話や見守り などを含みます。 ・家事・育児時間については『調査票の 記入のしかた』を参考してください。 ・仕事をしている人は仕事をして いる日をふだんとします</p> <p>F1の2 この1年間に育児休業などの 制度を利用しましたか （利用した場合はあてはまるものすべてにマーク） ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含めます</p> <p>F2 家族の介護を していますか ・自宅外にいる家族の介護も含めます。 ・介護の内容については『調査票の記入 のしかた』を参考してください</p> <p>F2の2 この1年間に介護休業などの 制度を利用しましたか （利用した場合はあてはまるものすべてにマーク） ・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含めます</p>

1 氏名・男女の別及び配偶者(妻又は夫)の有無 ・配偶者の有無は届出の有無に関係なく記入してください	氏名 男 女 未婚 配偶者あり 死別・離別	5 居住地について (1)現在の場所に住み始めたのはいつですか ・平成29年(2017年)以後の人は月まで記入してください (2)あなたはなぜ現在の場所に住むことにしたのですか ・あなたから見た理由を記入してください (おもなもの一つにマーク) (3)現在の場所に住む前はどこに住んでいましたか ・東京都区部及び政令指定都市の区の間で移動した場合は「同じ都道府県内の別の市区町村」とします ・「他の都道府県」の場合は 都道府県名も記入してください	出生時から 明治 大正 昭和 平成 令和 西暦 (6~) 年 月 日 あなたの仕事の都合 家族の仕事の都合 通学のため 結婚のため 子供の養育・教育のため 介護・看護のため その他
2 世帯主との続柄 ・世帯主の配偶者の祖父母・兄弟姉妹はそれぞれ「祖父母」「兄弟姉妹」に含めます	世帯主 世帯主の配偶者 子の配偶者 子の孫 世帯主の父母 配偶者の父母 祖父母 兄弟姉妹 他の親族 その他	6 収入の種類 ・あなた個人のこの1年間の収入について記入してください ・だれの分かはつきりしないものは世帯主の分に含めて記入してください (おもなもの一つにマーク) (その他該当するものすべてにマーク)	同じ市区町村内の別のところ 同じ都道府県内の別の市区町村 他の都道府県 外国 都道府県名(左づめで記入)
3 出生の年月 ・元号又は西暦にマークの上年及び月を記入してください	明治 大正 昭和 平成 西暦 年 月	4 教育 (1) 就学状況 ・現在 学校に在学しているかどうかについて記入してください ・予備校などは ここでは学校には含めません ・「卒業」の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業した学校)について記入してください (2) 学校区分 ・回答肢については『調査票の記入のしかた』を参考してください	卒業 在学中 在学したことがない (5~) 年 小学・中学 高校・旧制中 専門学校(修業年限) 短大 専大 大学院(修業年限) 博士
7 あなたはふだん何か収入になる仕事をしてしていますか ・ここで「仕事をしている」とはふだん仕事をしており 今後もしていくことになっている場合をいいます ・収入になる仕事には 家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます ・家事には 育児・介護・看護などを含めます ・通学には「4 教育」欄の記入にかかわらず 予備校・専修学校・各種学校に通っている場合も含まれます ・10月1日あるいはその前 数日間たまたま仕事をして「仕事をしていない」としますが 季節的な仕事や病気などでたまたま仕事を休んでいる場合は「仕事をしている」とします ・育児休業や介護休業などのため仕事を一時的に休んでいる場合は「仕事をしている」とします		仕事をしている人 仕事をしていない人 家事をおもっている 家事がおもっている 通学がおもっている 家事・通学以外のおもっている 家事・通学以外のおもっている 家事をおもっている 通学している その他	

この調査票は機械にかけますので汚したり丸めたり最初折られたりしないで行ってください

A ふだん仕事をしている人

おもな仕事について(仕事を休んでいる人は休んでいる仕事について記入してください)

A1 勤め先・勤め先における呼称・実店舗の有無
・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます
・上記以外の派遣されている人(パートの派遣店員など)は派遣元の事業所における呼称について記入してください

A1の2 自分で事業を起こしたのですか
A1の3 雇用契約期間の定め有無・1回当たりの雇用契約期間
A1の4 この仕事で雇用契約を更新したことがありますか
A2 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容
A3 本人の仕事の内容
A4 勤め先・業主などの企業全体の従業員数
A5 この仕事の1年間の就業日数及び1週間の就業時間

B ふだん仕事をしていない人

B1 あなたは何か収入になる仕事をしたか
B2 どうして仕事をしたいのですか
B3 どのような種類の仕事(職種)につきたいのですか
B4 どのようなかたちで仕事をしたいのですか
B5 その仕事を探したり開業の準備をしていますか
B6 仕事を探したり開業の準備をしていないのはどうしてですか
B7 その仕事を探したり開業の準備をしている期間はどれくらいになりますか
B8 仕事があればすぐつくつもりですか
B9 収入になる仕事をしたか
B10 今までに何か仕事をしていましたか

A くだん仕事をしている人のつづき

こちらはウラ側です
オモテ側から記入してください

A6 この仕事の1年間のテレワークの実施状況
・1日のうち少しでもテレワークを実施した日数について1年間の就業日数に占める割合を記入してください

実施した	20%未満	20%~40%未満	40%~60%未満	60%~80%未満	80%以上	実施していない
	<input type="radio"/>					

A6の2 テレワークはどこで行いましたか
(おもなもの一つにマーク)

自宅 サテライトオフィス その他

A7 この仕事からの1年間の収入又は収益(税込み)
・この仕事について1年未満の人は1年間の見積額を記入してください
・自営業の場合は売上高から必要経費を差し引いた営業利益を記入してください

収入なし・50万円未満	50万円~99万円未満	100万円~149万円未満	150万円~199万円未満	200万円~249万円未満	250万円~299万円未満	300万円~399万円未満	400万円~499万円未満	500万円~599万円未満	600万円~699万円未満	700万円~799万円未満	800万円~899万円未満	900万円~999万円未満	1000万円~1249万円未満	1250万円~1499万円未満	1500万円以上
<input type="radio"/>															

A8 この仕事にはいつついたのでですか
・元号又は西暦にマークの上平成4年(1992年)以後の方は年及び月をそれ以外の方は年のみ記入してください

大正 昭和 平成 令和 西暦

年 月

A9 どうしてこの仕事についたのでですか
(おもなもの一つにマーク)

失業していた 学校を卒業した 収入を得る必要が生じた 生かしたかった知識や技能を 社会に出たかった 時間に余裕ができた 健康を維持したい 仕事が見つかった よりよい条件の その他

A10 どうして今の就業形態にしているのですか
(該当するものすべてにマーク)
(うちおもなもの一つにマーク)

自分の都合のよい 家計の補助・学費等を 得たいから 通勤時間が短いから 専任的な技能等を 生かせるから 正規の職員・従業員の 仕事がないから その他

A11 収入を一定の金額以下に抑えるために就業時間や日数を調整していますか

している していない

A12 この仕事を今後も続けますか
・同じ会社で配置や勤務地を変わりたい場合は「この仕事を続けたい」とします

この仕事を続けたい (A13へ)
別の仕事もしたい (A12の3へ)
ほかの仕事に 変わりたい (A14へ)
やめてしまいたい (A14へ)
仕事をすっから

A12の2 どうしてほかの仕事に変わりたいのですか
(おもなもの一つにマーク)

一時的に仕事だから 収入が少ない 事業不振や 先行き不安 収入が少な 定年又は雇用契約の 満了に備えて 時間的・肉体的に 負担が大き 知識や技能を 生かしたい 余暇を増やしたい 家事の都合 その他

A12の3 どのような種類の仕事(職種)につきたいのですか
(おもなもの一つにマーク)

製造・生産工程 建設・探掘 輸送・機械転 営業・販売 サービス職 専門的・職業 管理的職業 事務職 農林漁業 保安 運搬・包装等 仕事

A12の4 どのようなかたちで仕事をしたいのですか
(おもなもの一つにマーク)

正規の職員・従業員 パート・アルバイト 労働者派遣 派遣社員 契約社員 自分で事業を 起こしたい 家を継ぎたい 内職 その他

A12の5 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか

探している 開業の準備をしている 何もしていない

A13 現在より就業時間を増やしたいと思っていますか

今のままでよい 増やしたい 減らしたい

A14 あなたはおもな仕事のほかに別の仕事もしていますか

している していない (A19へ)

A15 勤め先が自営か別・勤め先における呼称・実店舗の有無

雇われている人のうち 会社などの役員 自営業主 内職

正規の職員・従業員 正規の職員・従業員以外 役員・職員 他 実店舗あり 実店舗なし

A16 勤め先・業主などの事業の内容
・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく記入してください

A17 本人の仕事の内容
・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく記入してください

A18 仕事の規則性及び1週間の就業時間
・ある季節だけ仕事をしている場合も「不規則」とします

規則的か否か 不規則 だいたい規則的

時間

A19 現在のおもな仕事について前にか別の仕事をしていましたか

ある (C欄へ) ない (E欄へ)

C 前の仕事について

C1 前の仕事をいつやめたのですか
・元号又は西暦にマークの上年及び月を記入してください

平成4年(1992年)以前 平成5年(1993年)以後

平成 年 月

C2 前の仕事はどれくらい続けていたのですか

1か月未満 1か月以上

年 月

C3 どうして前の仕事をやめたのですか
(おもなもの一つにマーク)

会社倒産・事業所閉鎖のため 人員整理・勤退退職のため 事業不振や先行き不安のため 定年のため 雇用契約の満了のため 収入が少なかったため 労働条件が悪かったため 結婚のため 出産・育児のため 介護・看護のため 病気・高齢のため 自分に向かない仕事だった 一時的に休んだ 家族の転勤・転居又は 事業所の移転のため その他

C4 前の仕事の勤め先が自営か別・勤め先における呼称
・『労働者派遣事業所の派遣社員』とは労働者派遣法に基づく人をいいます
・上記以外の派遣されていた人(パートの派遣社員など)は派遣元の事業所における呼称について記入してください

正規の職員・従業員 パート アルバイト 労働者派遣 派遣社員 契約社員 嘱託 その他

会社などの役員 自営業主 自営業の役員 内職

C5 勤め先・業主などの事業の内容
・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく記入してください

C6 本人の仕事の内容
・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく記入してください

D 初職について

D1 最初についた仕事は現在の仕事又は前の仕事と別ですか
・通学のかたわらにパート・アルバイトなどはここでいう「最初の仕事」とはしません

はい (現在の仕事とも前の仕事とも別) いいえ (現在の仕事が「最初の仕事」 前の仕事が「最初の仕事」 まだ「最初の仕事」についていない

D2 「最初の仕事」にはいつついたのでですか
・元号又は西暦にマークの上平成4年(1992年)以後の方は年及び月をそれ以外の方は年のみ記入してください

大正 昭和 平成 令和 西暦

年 月

D3 「最初の仕事」の勤め先が自営か別・勤め先における呼称
・『労働者派遣事業所の派遣社員』とは労働者派遣法に基づく人をいいます
・上記以外の派遣されていた人(パートの派遣社員など)は派遣元の事業所における呼称について記入してください

正規の職員・従業員 パート アルバイト 労働者派遣 派遣社員 契約社員 嘱託 その他

会社などの役員 自営業主 自営業の役員 内職

E 訓練・自己啓発について(全員が記入してください)

E この1年間に仕事に役立てるための訓練や自己啓発をしましたか

した (F欄へ) しなかった (F欄へ)

Eの2 訓練や自己啓発の種類
(行ったものすべてにマーク)

勤め先での研修 大学・大学院の講義の受講 専修学校・各種学校 公共職業能力開発施設 の講座の受講 講習会・セミナーの傍聴 勉強会・研修会への参加 通信教育の受講 自学・自習 その他

(勤め先が実施したもの) (自発的に行ったもの)

うち公的助成のあったもの

F くだんの育児・介護の状況について(全員が記入してください)

F1 子の育児をしていますか
・ここでいう育児とは未就学児を対象とし乳幼児の世話や見守りなどをいいます
・孫や姉妹の世話などは含まれません
・仕事をしている人は仕事をしている日をふだんとします
・家事・育児時間については『調査票の記入のしかた』を参考してください

子の育児をしている (F2へ) 子の育児をしていない

ふだんの1日当たりの家事・育児時間

1時間未満 1~2時間未満 2~4時間未満 4~6時間未満 6~8時間未満 8時間以上

F1の2 この1年間に育児休業などの制度を利用しましたか
(利用した場合はあてはまるものすべてにマーク)
・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます

育児休業 短時間勤務 子の看護休暇 残業の免除・制限 フレックス その他 しなかった

F2 家族の介護をしていますか
・自宅外にいる家族の介護も含めます
・介護の内容については『調査票の記入のしかた』を参考してください

介護をしている (G欄へ) 介護をしていない

毎3日未満 週に1日 週に2日 週に3日 毎4~5日 毎6日以上

F2の2 この1年間に介護休業などの制度を利用しましたか
(利用した場合はあてはまるものすべてにマーク)
・「短時間勤務」には勤務日数の短縮も含まれます

介護休業 短時間勤務 介護休暇 残業の免除・制限 フレックス その他 しなかった

G 世帯について(世帯主のみ記入してください)

G1 世帯全体の年間収入(税込み)

100万円未満	100万円~199万円未満	200万円~299万円未満	300万円~399万円未満	400万円~499万円未満	500万円~599万円未満	600万円~699万円未満	700万円~799万円未満	800万円~899万円未満	900万円~999万円未満	1000万円~1249万円未満	1250万円~1499万円未満	1500万円~1999万円未満	2000万円以上
<input type="radio"/>													

・ここではあなた以外の世帯員の収入も合計した金額を記入してください

G2 世帯人員

あなたの世帯にふだん住んでいる世帯員の合計

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
<input type="text"/> 人							
8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳以上
<input type="text"/> 人							

・ここではあなたも含めた人数を記入してください

おもな仕事について(仕事を休んでいる人は休んでいる仕事について記入してください)

この調査票は機械にかけるので汚したり丸めたり最初に折られている以上に折ったりしないでください